



教育目標 「学ぶ心 自主の心 思いやりの心」

校 訓 「勤労 自主 誠実」

令和7年12月25日

八王子市立元八王子中学校

校長 東内竜吾

<http://hachioji-school.ed.jp/mthtj/>

染みわたる①アジ

校長 東内竜吾

厳しい寒さが身に染みる季節になりました。 冷え切った体に一口飲む熱いコーヒー。体中の②サイボウに染みわたっていくのがわかります。ミスをしてしまい、自分のふがいなさに落ち込んでいるとき、何も言わずに温かいお茶をそっと置いてくれる友人。『君は一人じゃないよ』というメッセージが、静かに染みわたってきます。グツグツと食卓に並ぶおでん。大根は③ダシを思いっきり吸い込み、色まで染みているものほどおいしいものです。

12月に入り、今年もあっという間に終えそうです。時の流れを感じます。その上に季節の変化を体感することで、時間感覚や自然のサイクル、命の営みを学びます。また、それぞれの季節には、その時期ならではの行事や④フウシュウがあります。それらに触れることで地域の伝統や生活の知恵を身につけていきます。そしてもう数日で迎えるお正月は、感受性を使って季節と文化を最も強く感じる行事です。張り詰めた空気の中、新しい年を迎える、元旦の朝。なんだか凛とする瞬間です。そして、匂いと味を感じます。おせち料理とお雑煮です。心がホット和らぎ、ルーツに立ち返る瞬間です。目の前には、家族や親せきが居ます。日々の生活への感謝の念が、静かに心に染みわたる瞬間です。

さて、本日、終業式で生徒のみなさんにもお話した「自立」について、少し書いていきたいと思います。「自立」とはどのようなことでしょうか、と聞かれたらどう答えますか。

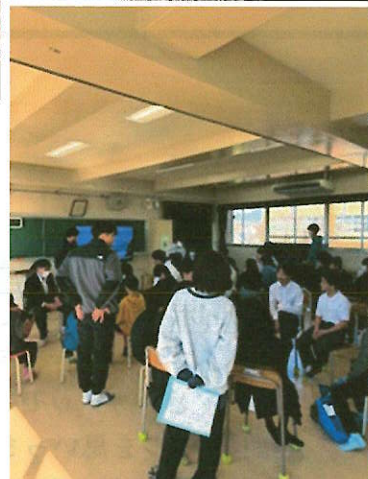
「一人で何でもできること」や「誰にも頼らずに生きていくこと」と答えるかもしれません。でも、私が思う自立とは、“好き勝手に生きること”ではありませんし、“誰の力も借りずに生きること”でもありません。むしろ、自分にできないことを認め、必要なときに迷わず大きな声で、「助けて!」と SOS を出せること。これこそが、本当の意味での「自立」なのではないでしょうか。

人に頼ることは、弱さではなく、強さの⑤アカシでもあるのです。自分の限界を知り、他者と協力しながら前に進む力。それが、これからの皆さんにとって大切な力になるのです。自分自身と向き合い、この冬、少しずつ「自立」への一步を踏み出していきましょう。自分の弱みや弱点を見せてください。そんな時、そっと隣にいてくれる人と時間を過ごしましょう。⑥ステキな時間となるはずです。そして、誰かの弱さに気づいたときは、その隣にそっと寄り添える優しい人であってほしいと願います。

「助けて」といえた時こそ本当に強く、優しく、自立した瞬間です。この冬、自分の中の“強さ”と“優しさ”を育てていましょう。私は、職員室で日頃から先生方に助けてと、SOSを発信しています。

8組 大忙し!

2年生が11月17日(月)～21日(金)の期間で職場体験を行いました。働くことの大切さを肌で感じたことだと思います。12月4日(木)は、近隣の小学生と交流会を開催しました。楽しい時間でした。12月9日(火)にはフエロー保育園のクリスマス会に招待されました。



響き合う心



12月13日(土)に2年生が伝統芸能で「お囃子」について学習しました。間近でいる迫力、音を聴いて呼吸を合わせる、「一体感」に触れることができました。日本の文化のすばらしさを継承していきたいです。



今年も数日となりました。日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝いたします。さて、1月より始まります三学期は、1年の締めくくりであると同時に、次の1歩踏み出すための重要な時期となります。本校では今後、より一層「地域に開かれた学校」を目指してまいります。三学期も、公開授業やボランティア活動などの機会を積極的に設けていく予定です。学校がお子様だけが学ぶ場であるだけでなく、保護者の皆様や地域の方々と共にお子を育む「温かなコミュニティ」でありたいと考えております。是非皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。それでは皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

校長 東内 竜吾